

アジェンダ 21 すいた 会議録（令和 5 年 2 月）

作成者：田中

会議名	幹事会	
日 時	令和 5 年 2 月 22 日（火） 13:00 ～ 15:00	
場 所	オンライン開催	
出席者(敬称略)	幹 事 (順不同)	三輪信哉、福井一彦、小田信子、池淵佐知子、水川晶子、藤田和則、吉田 寛仁（大阪大学社会連携課）、荒堀尚（大阪ガス）、小山
	フェスタ 運営委員	井上道代
	事務局	篠田、笹、田中
欠席者(敬称略)	馬場多佳子、馬場慶次郎	
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 報告 各部会、FSP チーム、各団体（市民団体、企業、大学等）、行政より 2. 役員の任期途中の交替に伴う後任者の選任（監事）について 3. すいた環境教育フェスタについて <ol style="list-style-type: none"> (1) すいた環境教育フェスタの出金額充当(案)について（資料 1） (2) ブース内容（前日、当日）について すいた環境教育フェスタ出展者アンケートについて（資料 2） (3) 団体交流会について 所感、改善点等 4. 環境団体の意見交換ツールについて 5. 講師謝礼基準について（資料 3） 6. 定時総会について 7. 環境教育担当者会（4/28 予定）について 	
配布資料	●幹事会次第	
	●資料 1	フェスタ出金額充当内訳
	●資料 2	出展者用アンケート用紙
	●資料 2-1	出展者用アンケート(フェスタ提出用)_修正
	●資料 2-2	アジェンダ内部意見_修正
	●資料 3-1	アジェンダ 21 すいた講師謝礼基準経過
	●資料 3-2	アジェンダ 21 すいた講師謝礼基準（案）
1 報告 ■エネルギー部会（井上） 1 月 29 日（日）じぶん発電講座を実施。10 名定員に対して 20 名の応募有。 ■資源部会（水川） 報告事項無し。		

■自然部会（藤田）

準会員として、新しいメンバーが増える。本人の希望から、ひとまず自然部会に参加予定。

■フラッグシッププロジェクトより

【温暖化】

地域通貨の可能性の継続検討中（シンポジウムは時期尚早と判断）。

すいたクールアースウィークをあまあさき環境オープンカレッジと連携できないかを相談中。

【食ロス】（水川）

- ・1月、てまえどりキャンペーンをスーパーとコンビニで実施。キャンペーンに参加したダイエーから通年やってはどうかという提案があった。現在は次年度のキャンペーンを検討中である。
- ・食べきり運動はコロナでできなかったが、再開予定。
- ・ドギーバック（食べ残しの持ち帰り用容器）を展開したいと思っている。

【大阪大学】（吉田）

昨年12月16日、国際学生SDGsフォーラムで、在学生、提携校の留学生が作成したSDGsをテーマとした動画コンテストを実施した。応募総数は92作品。在学生の関心は高かった。

主催：グローバルイニシアティブ機構（阪大内にある）

同機構に教員、事務方がいて、動画の募集、表彰をした。ホームページがあるので、また見てほしい。

『大阪大学「学生動画コンテスト」表彰式及び国際学生SDGsフォーラムを開催 - 大阪大学 (osaka-u.ac.jp) <<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2023/01/27001>>』

【大阪ガスネットワーク】（荒堀）

大阪ガスでは、カーボンニュートラルメタンの研究をしている。

メタンは液化天然ガス（都市ガス）の主原料であるが、水素と排出した二酸化炭素を合成して、合成メタンを作り原料として供給すれば、排出した二酸化炭素を使用するだけなのでニュートラル化（排出量と回収量が同量）する仕組み。この合成メタンの名称は今後「e-メタン」で統一される。

→e-メタン製造は採算（エネルギーとお金）が合うのか。

→水素を分離することにエネルギーと費用がかかる。水素はグリーン水素であることが必須なので、再生可能エネルギーを使って製造する。再生可能エネルギーは不安定さが弱点だが、水素製造に使用することで不安定さをある程度緩和できる。水素として燃焼してもよし、使いやすいメタンに変えるなど、さまざまな研究をしている。水素単体で使用方法もあるが、輸送などの取扱い易さを考えると、メタンがより使いやすい。水素は、単位当たりの熱量がメタンの三分の一で、また大変発火しやすい（簡単に発火するが、通常に燃やしてもなかなか熱量が出ない性質。）ので、大阪ガスではメタンで使用することを考えている。

【市民環境会議】（小田）

特に報告することはない。

【事務局】（参考資料 1）

行政が 2 月 25 日（土）に「カマキリ博士の昆虫教室」を開催する。ごみを拾いながら、虫の生きていた痕跡を探す。

2 役員の任期途中の交替に伴う後任者の選任（監事）について

リコージャパン米田さんから、尾崎さんに役割移譲したので、承認いただきたい。

（全員承認）

3 すいた環境教育フェスタについて

(1) すいた環境教育フェスタの出金額充当(案)について（資料 1）

- すべてアジェンダのフェスタ用予算に充当。→出展補助費はポスターの印刷費を根拠に申請予定。
（出金額充当(案)は異議なし、了承された）

(2) 出展者アンケートと内部意見について

- すいた環境教育フェスタ出展者アンケート（資料 2-1）について
訂正追加がある場合、事務局に連絡。（2月末日まで）
- アジェンダ内部意見（資料 2-2）について
 - アジェンダの部会ごとで出展するのではなく、アジェンダで一つ出展するのでもよい。（例えばエコすごろくだけなど）
 - 環境問題を知るための短編上映会をしたい。
 - エコすごろくのブース が狭かった。もう少し広めのブースがよい。
→アジェンダのブースは他団体より広く取っている。アジェンダ内の部会で調整してほしい。
 - メイシアターでは広さが不十分。

(3) 団体交流会について

- 名簿がなく進行でもたついてしまった。
- 環境団体同士連携したいという話もあり、今度どうするか考えたい。
- 参加者が多すぎた（20 人程）。自己紹介にも時間がかかり、発言がしにくく、全体の交流は難しかったと感じた。例えば、グループに分けるなどの工夫をすればどうか。
- 自己紹介の時間がほとんどだった。事前に団体紹介を配れば、当日の自己紹介は不要だと思う。
- 話題を限定するのはよくないが、きっかけになるような話題を用意するのがよい。
- 自己紹介の時間は反省する点だが、グループ分けや話題を作ると、自由な交流にならない。
- 少し工夫してもよいと思う。例えば、テーマを出して、グループで意見を出すといったワークショップ形式があってもいい。

- ・若い人が参加していないと、どの団体の意見でもあった。

4 環境団体の意見交換ツールについて

現在、グループコミュニケーションアプリ「BAND」を試用中。過疎化しないようにすればいいツールになると思う。意見を聞きたい。

- ・生年月日などの個人情報を入力する必要があるので登録したくない。
 - ・会社が認めていないアプリを会社のパソコンにインストールできない
→パソコンはブラウザで登録できる。
 - ・全てに公開、特定の方に公開など公開制限をかけて、広く広報したい場合や、小さなグループで討論したい場合など使い分ける機能がほしい。
 - ・交流会では各団体のイベントの告知、交流の場がほしいという話であったので、HP や Facebook などがいいと思った。BAND はグループでの連絡、ミーティングに適しているのではないかと思う。
- BAND では、他グループを調べることができ、身内交流だけではない。
- ・あまがさき環境オープンカレッジのHP には、市内の全環境団体の紹介 PDF を掲載している。市民団体が記事をアップして、市民にオープンするというのが一つの方法かと思う。
 - ・事務局ではツールの提案は出し尽くしたので、BAND 以外だと何があるかを教えてほしい。Facebook は、アカウント管理者を選任するか、全員でアカウントを共有する必要がある（いい方法ではない）。以前に提案があり、一度は却下になっているが、それでも Facebook を使用するのであれば、運用方法を考えるのが先である。
- 大ガスでは LINE ワークスを使用している。Facebook は専用アカウントで、対外的な PR に内容を限定して使用している。内部での情報共有では使用していない。

【継続議論とし、3月20日のフェスタ委員会では、まだ検討中と伝える。】

5 講師謝礼基準について（資料3）

これまでの議論と経緯を説明（資料3-1）

事務局案（資料3-2）

- ①.ランクは設けない。
- ②.金額は時間単位にする。
- ③.金額は市の基準以上にならないよう設定。
- ④.講義、講演は人数で分け、フィールドワークのあるなしは問わない。
- ⑤.遠方からくる方、宿泊が必要な方へ多めの金額を設定。（別途交通費、宿泊費等はなし）。
- ⑥.この基準にあてはまらない著名人等で、招へいする明確な理由がある場合は、幹事会で検討。
- ⑦.アジェンダ会員でも有識者として依頼する場合は上記金額を支払う（会員枠を設けない）

事務局案に対する意見、質問

（規約順守について）

・規約の金額で講師に依頼するのが大前提で、それを変更しようとしたことが問題だったと思うが、今までの金額基準が合わないから訂正するということがか。

→該当するランクに金額的な不足があるという議論があったので変更を検討している。

→決まった基準に従わないと、いくら変更しても同じことを繰り返す。

(ランク分けについて)

・どんな人でも同じ金額なのかという問題にならないか。

→この条件で来てくれる人に依頼をしてほしい。

→ランク分けで議論になることが多かったが、時給にしたことで、妥当な金額になっていると思う。

(講義・講座・助言指導の扱い)

・60人の募集で参加者が40人しか来ない場合はどうなるか。

→募集の人数で判断。

・50人未満を想定していたが、50人以上集まった場合は、時給が変更されるのか。

→結果的に50人超えても単価が上がることはない。

・助言指導と講座の違いが分からない。

→例えば、幹事会に招待し、専門性のある助言をもらうのに謝礼が必要な場合などを想定。無償で助言していただける場合は必要ない。講座は面識のない人を集め話すイメージ。

・打合せの時間は、支払対象になるか。

→打合せは対象外。(それも含めての謝礼となる)

(交通費等について)

・東京から呼んでも交通費は支払われないか。

→現状の案では支払われない。東京から先生を呼ぶ理由を明確にしてもらう必要がある。

→以前は別途交通費支給していた。(定時総会の第2部でお呼びした中井八千代先生など)

・遠方の方は※印の「基準により難しい」に該当するのではないか。

→※印は著名人等を想定しているので、該当しない。また市の基準をみても交通費別途加算はない。

・交通費負担が大きい人は呼べないということか。

→どうしても呼びたい場合は、遠方の方を呼ぶ理由を明確にする必要がある。また、オンラインで呼ぶなどの工夫も必要。

・どんな人でも呼べるわけではないという認識を持ってほしい。

(アジェンダ会員について)

・アジェンダ会員の有識者の定義は専門的な知識を持っている人。(例：みどりのカーテンの講師、寺西さん、省エネ相談会の際の相談員等。)

・アジェンダ会員の有識者への支払いはやめて、アジェンダの活動の一環とするのがいいのでは。

・団体会員の一員が講師となった場合、支払いは発生するか。

→支払いなしは無理がある。この基準で支払われるべき。

- ・アジェンダ会員については「幹事会ではかる」という一文を※印で入れたらどうか。
 - ・アジェンダ会員に払うかどうか、再考してほしい。
- 【運用は次年度の総会以後になる。継続審議とする。】

6 定時総会について

(1) 実施場所・日時

まちなかりビング北千里、15日(土)で決定。

(2) 実施方法

- ・現地開催を基本とし、オンライン併設について後日話し合う。
- ・コロナの制限が緩和するとしても、大人数が集まって飲食をすることになるので、懇親会はしない方向で考えたい。第2部の講演会、映画会については実施を検討。
→懇親会をしない選択は現状できない。できるなら実施する。
→まちなかりビングを夜間まで仮押さえして、懇親会をするかは保留。

補足) 議案書については、今から、少しずつ昨年の議案を参考に編集を進めてほしい。

7 その他

環境教育担当者会(4/28予定)について

環境教育担当者会は、学校の環境教育担当の先生が集まる場。こちらができる事業の説明できる。ただし、学校で取り組むかどうかはその先生の判断で決まる。各部会で、提案できることを相談願う。

- ・前回参加しての感想だが、参加しても出前講座の実行は難しいと思う。説明だけでいいなら参加する。
- ・環境教育担当者に周知するためだけの場である。本当に学校のカリキュラムに入れるには、教育委員会にいき、校長会等で説明し、さらに学校に訪問して提案する等の労力が必要である。
- ・長い目を持って、宣伝のためにも参加する方がいい。AG21 すいたとして一枠は確保してほしい。

【結論】

参加の方向で進める。環境教育担当者会に参加するかを各部会、FSに持ち帰り検討、次回に持ち越す。

豊中市地球温暖化防止イベント(参考資料2)

豊中市のアジェンダがエコと演劇をテーマにイベントを開催する。事前申し込み不要なので、興味のあるかたは参加してほしい。

次回予定日

令和5年3月16日(木)午後3時00分から5時00分(予定)オンライン予定